

参加申し込み方法・費用について

- 参加費
 - 両日参加/5,500円(事務手数料含む)
 - 1日参加/3,300円(事務手数料含む)
 - 学生/1日 1,000円 2日間 2,000円
 - 市民講座のみ/1,000円(1講座あたり)
- 弁当代
 - 9月8日(日) 昼食/大人800円(お茶付き) 子ども500円(アレルギーの対応はできません)
- 保育
 - 2歳以上/1日1,000円(おやつ、保険料含む/昼食代は別になります)
 - ※予約のない場合はお預かりできません。当日の保育キャンセルの返金はできません。
 - 保育申込者の9/8日のお弁当は保育会場にてお渡しをします。
- 参加と宿泊の申し込み方法
 - ①参加及び宿泊、弁当、保育の申し込みは、「参加申し込み要項」をご覧の上、別紙「参加申込書」に必要事項をご記入し、FAXにて下記「名鉄観光」へお申し付けください。
 - ②お申込み後、請求書をお送りいたしますので、振込にてお支払ください。尚、振込手数料は参加者負担とさせていただきますのでご了承ください。
 - ③お振込確認後、チケット類(参加券、宿泊券、お弁当券)を発送いたしますのでご確認ください。
- 申込み締切日 **2019年7月31日(水)**
- キャンセルについて 別紙「参加申込書」をご参照ください。

※個人情報の取り扱いについて
お申込み時にご記入頂きました個人情報については、今集会に係る目的以外での利用は致しません。予約の為の関係施設への情報提供につきましてはご了承ください。

●交通のご案内

<宮崎公立大学> 〒880-8520 宮崎県宮崎市船塚1丁目1番地2

○徒歩・・・JR宮崎駅から約25分

○バス

- 宮崎駅より 徒歩(5分)→宮交橋通り支店バス停にて
 - ②③番線 古賀総合病院行き 乗車「江平一丁目」下車→徒歩10分
 - ①番線 宮崎神宮方面 乗車「江平一丁目」下車→徒歩10分
- 市街地より「デパート前」バス停→⑧番線 平和台・県病院方面乗車 →「花殿町」下車→徒歩5分

○タクシー

JR宮崎駅から約5分 820円程度
宮崎空港から約25分 3,250円程度

<南九州大学 宮崎キャンパス> 〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島5丁目1-2

○バス

- 市街地より「デパート前」バス停→⑧番線 平和台・県病院方面乗車 →「霧島4丁目」下車→徒歩1分

○タクシー

JR宮崎駅から約10分 1,000円程度
宮崎空港から約30分 3,500円程度



<参加申し込み・お問い合わせ先>

名鉄観光サービス株式会社 福岡支店「第49回九州保育団体合同研究集会」係 担当：井浦・宮崎
〒812-0011 福岡市博多区駅前1丁目2番5号
TEL 092-451-8811 (営業) / FAX 092-432-3600

■主催 第49回九州保育団体合同研究集会 宮崎集会実行委員会 事務局長 松木 朋子

事務局：〒880-0037 宮崎市南方町御供田1191番地 南方保育園内

TEL：0985-39-5400 FAX：0985-39-5450 E-mail：nago1191@abelia.ocn.ne.jp

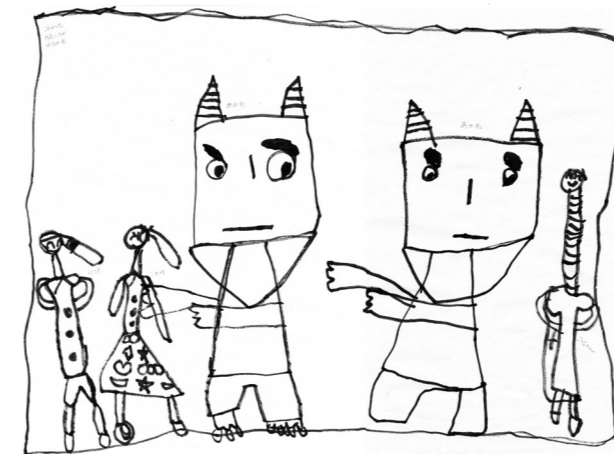
■共催 公立大学法人 宮崎公立大学 ・ 南九州大学

■後援 宮崎県・宮崎市・一般社団法人宮崎県保育連盟連合会・宮崎県小児科医会・宮崎日日新聞社・朝日新聞社・西日本新聞社・毎日新聞宮崎支局・NHK宮崎放送局・MRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎・MCN宮崎ケーブルテレビ (2019年4月1日現在)

第49回 九州保育団体合同研究集会 宮崎集会

集会テーマ

共にむきあい 学びがつなぐ 子どもの未来



第49回九州保育団体合同研究集会 宮崎集会のご案内

実行委員長 上野 満 (小児科医)

2019年、今年の「九州合研」は宮崎県での開催です。私は小児科医師(宮崎市内の病院勤務)ですので、保育園との一番の接点と言えば、春・秋の園児健診の場ということになるでしょう。毎回の健診でいつも感じることは、保育者の皆さんが、本当に子どもたちのことを観察しているということです。特に最近、子どもたちのちょっとした成長のつまずきにも正面から向き合い、さらにそこから子育て環境全体に対しても問題意識を持つ方が増えているように思います。今、この原稿を書いている間も、児童虐待をめぐる大変なニュースが、毎日のように次々と報道されています。しかし、こうした大きな問題も、もとは小さな気づきの段階で未然に防げたかもしれません。

一方、政府は捏造されたデータを使って、景気回復を偽装しますが、庶民の感覚からはおおよそかけ離れたものです。劣悪な労働環境や、低賃金でも働かざるを得ない状況を作りながら、相変わらず「保育園落ちた」の言葉がなくなる気配はありません。10月からの消費税アップに伴い、保育料の無償化が閣議決定され本年10月より行われるようですが、詳細は未確定で反対に給食費の実費徴収が浮上しました。今後の動向に目が離せません。

困難な状況の子どもたちに寄り添い、保育者が、親が、研究者が、そして医療者も含め多くの関係者が宮崎に集い、経験を共有し交流を通じて、豊かな保育が実践されることに期待します。

日程

2019年9月7日(土)～8日(日)

●9月7日(土) 13:00～ 宮崎公立大学 <〒880-8520 宮崎県宮崎市船塚1丁目1番地2>

受付	開会集会 歓迎行事 基調提案	記念講演	移動	講座 <ア～キ>	移動	分科会打ち合わせ (提案者と運営委員)
12:00	13:00	14:00	15:40	16:00	17:45	18:00

●9月8日(日) 9:00～ 宮崎公立大学 <〒880-8520 宮崎県宮崎市船塚1丁目1-2>
南九州大学 宮崎キャンパス <〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島5丁目1-2>

分科会・交流会	昼食	分科会・交流会 (午前中の続き)	移動	閉会集会
市民講座Ⅰ		市民講座Ⅱ		
9:00	10:00	12:00	13:00	14:50
			15:30	15:50

※両会場とも駐車場が限られています。来場の際は交通公共機関をご利用ください。

7日(土) 13:00～14:00

●歓迎行事

ようこそ宮崎へ!! 九州の南東部に位置し「遠い」イメージがありますが、東九州道の完成等により「行きやすい」地になりました。宮崎に来てよかったと思っただけのような、歓迎行事にしたいと思います。皆で一緒に集会を盛り上げていきましょう。

●基調提案

基調提案では、九州合研長崎集会で出された実践提案をもとに、今の子どもと保育者の関わり、家庭や地域の現状をとらえつつ、保育の手立てや子育て支援のあり方、保育制度・情勢の動向と課題などについて提起いたします。

参加者皆さんと一緒に学び語りあっていきましょう。

7日(土) 14:00～15:40

●記念講演

『今、子どもの育ちにとって大切なことは何か』

●講師 白石 正久 さん(龍谷大学社会学部現代福祉学科)

子どもは「よくなる、よくなる」という発達要求をもって生まれてきます。そして、その要求のあるところには、まだ至らない現実の自分があります。この要求と現実のズレが発達の矛盾であり、「発達とは矛盾を乗り越えること」なのです。

子どもだけではなく大人も、思い通りにならない現実と苦悩しつつ向きあっているのです。そう思うと子どもへの愛おしさは深いものになります。子どもの矛盾とたたかう姿への共感によって、大人も保育者として親として、自らの矛盾を乗り越えて発達していくことができるのです。

この講演では、子どもの発達に学びつつ、子育てのあり方、そして大人としてこの現実社会をいかに生きるかを、みなさんとともに考えたいと思います。

●**9月7日 (土) 宮崎公立大学** <宮崎市船塚1丁目1番地2>

講座 9月7日 (土) 16:00~17:45

講座A 集団づくり入門講座

『「集団づくり」で豊かな明日の保育を！』

講師：脇 信明（長崎大学）

子どもは子ども集団のなかで育ち上がっています。どういうクラス集団のなかで園生活を行うかが、成長を左右することもあります。

子どもたちが主体となって、知恵と力をだしあい、学びあい育ちあう子ども集団へとかえていく取り組みが「集団づくり」です。その基本的な見方・考え方を実践を交えながら学んでいきましょう。

講座イ 乳児保育入門講座

『乳児保育を楽しむ』

講師： 菱谷信子（精華女子短期大学）

赤ちゃんが人生の第一歩を踏み出し、親も親としての第一歩を歩み始める乳児期。乳児が毎日を生きていきと意欲的に過ぐし、幸せで確かな育ちをするために、保育者はどのようなことを大切に、どんな環境を作ればよいのでしょうか？乳児保育を楽しく実践できるように、そして日々の悩みを解決できるように共に考え合いきましょう。

講座ウ 保育情勢講座

『今後の保育制度・政策の方向性を探る』

講師： 村山祐一（保育研究所 所長）

新制度がスタートして5年、その見直しの検討がされはじめています。保育士確保困難問題の深刻化、保育士の処遇改善問題、保育・幼児教育無償化の導入にとまなう給食費問題などについて、子どもの権利保障と保育所運営のあり方という視点から検討し、今後の保育制度・政策の改善の方向性を探ってみます。

講座工 保育者講座

『いま・子どもに必要な自己肯定感』

講師：高垣忠一郎（フリースタイルな心理臨床家）

私の提唱する「自己肯定感」は愛の息吹を吹き込まれて膨らむ「浮輪」のような自己肯定感です。命の実物は「いま・ここ」を生きています。とりわけ、乳幼児期は「いま・ここ」での体と心の触れ合いが大切です。「いま・ここ」の触れ合いには「いま・ここ」を共有できる両者が一緒にいなければなりません。現代の子育てや教育で忘れられがちなことをお話したいと思います。

講座才 保育環境講座

『子どもが自ら「育つ」保育環境って？』

講師： 天野秀昭（一般社団法人「日本プレイパーク協会」理事）

子ども自身が「もっと育ちたい！」と思える環境、その育ちを本質で支える保育とはどういうものなのでしょう。

試行錯誤を繰り返し、園庭を見事にその環境に創り上げ、全く新しい保育を掴んできた園を事例紹介し、これまでの保育観とは次元を異にする、子ども相手ばかりではない保育園の持つ本質的な社会的価値を考えたいと思います。

講座力 あそびの講座

『遊びの「楽しさ」「愉しさ」大発見』

講師：木下豊彰（第二赤間保育園 副主任保育士）

遊びの「楽しさ」or「愉しさ」を再発見しませんか？この講座を通して、子どもたちに早く会いたいなど少しでも感じていただける講座にしたいと思います。

※参加にあたり、以下のものを準備ください。
・飲むヨーグルト等のミニペットボトル
・シールタイプもしくは普通のフェルト（複数色）
・セロテープ
・ボンド
・ハサミ
・油性ペン
・制作物を入れる袋

講座キ 虐待と貧困講座

『育ちの中で影響を受ける子どもたち』

講師： 甲斐英幸（NPO法人子ども虐待防止みやぎきの会長）

虐待など子どもが被害を受ける事件が相次いで報道され私たちは心を痛めます。一方で「問題行動」を起こす子どもや、考えられないような動機で重大事件を起こす少年たちの事件も報道されます。

こうしたことは、私たちの保育や子育て支援とどのように関わってくるのでしょうか？

何らかのSOSを出しているに違いない保護者や子どもたちに寄り添い、私たちだからこそできるサポートを考えてみたいと思います。

●**9月8日 (日) 宮崎公立大学** <〒880-8520 宮崎県宮崎市船塚1丁目1番地2>

分科会 9月8日 (日) 9:00~14:50

① 0歳児保育	
・0歳児の発達にとって何を大切にしたら良いかについて深め合おう。 <ul style="list-style-type: none">0歳児の健康・身体づくりにどのように取り組み、どうコミュニケーションを図っていけばよいかについて深め合おう。 0歳児の発達を保障するために、どのような条件を整備し、体制を作っていったらよいかについて深め合おう。	
	田中洋・南條恵・沼田史・藤田一郎

② 1・2歳児保育	
・1、2歳児の生活と育ちの実際を把握し、子どもが安心して生き生きと過ごすために何が求められているかを考え合しましょう。 <ul style="list-style-type: none">1、2歳児の発達を保障する保育のあり方を、実践記録をもとに深め合いましょう。 保育者と子ども、子ども同士の関係づくりと共に、保育者同士や保護者とのよりよい関係を、どのように築いていくかについて考え合いましょう。	
	小池亜津子・前田晶子・木戸美樹・井上邦子

③ 3歳児保育	
・3歳児クラスの新年度にどのような配慮が必要となるのか、新入園児だけでなく、2歳児クラスからの移行の子どもの意欲と不安への対応についても考え合いましょう。 <ul style="list-style-type: none">3歳児の生活と育ちをとらえ、見通しをもった保育をどのように行っていくのかについて話し合いましょう。 保育者と子どもとの関係、子ども同士の関係をどのようにつくっていくのかについて学び合いましょう。 保育者同士や保護者との関係をどのようにつくるのかについて探っていきましょう。	
	大元千種・阿南寿美子・北崎恵理

④ 4・5歳児保育	
・いろいろないへんさを抱えた子どもたちも増えていますが、4、5歳らしい楽しい活動をめぐり、どの子もクラスの仲間として育ちあう保育実践を学び合いましょう。 <ul style="list-style-type: none">子どもの育ちや保育を豊かなものにする為に、保護者や地域等をまきこんでいった実践を交流し、学び合いましょう。 進級や就学への接続を見据えた保育をどう進めていくか、話し合いましょう。	
	堀江きよみ・金子幸・末善雅美・草場慎一

⑤ 異年齢保育	
年齢別保育も異年齢保育も両方大切ですが、学びあい育ちあう保育の広がりと深まりは異年齢保育に独自のものがあります。年齢の違いを超えて、お互いが支え合う保育の営みをもっと大切にしたいものです。 <ul style="list-style-type: none">異年齢保育は異年齢クラス編成だけでなく、年齢別クラス編成によって行われる異年齢交流、あるいは生活と遊びに分けて行っている園もあります。この分科会では色々な取り組みが紹介されますので、それぞれの園で参考になる実践が学べる良い機会となるでしょう。	
	坪井敏純・川上隆子・鍋田まゆ・島田知和・奥村智美

⑥ 保・幼・小の連携と学童保育	
	諏村久美子・大滝喜和子・松村奈留美・鍋倉功

⑦ 障がい児保育	
・障がいのある子どもの生活と保育の実態は、どうなっているのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none">障がいのある子どもの発達を保障する手だてには、どんなことがあるのでしょうか。 クラスの子もたちの育ち合いを、どうつくり出していけばよいのでしょうか。 保育者と保護者・関係機関の連携は、どうあったらよいのでしょうか。	
	米衛政光・石本隆士・渡辺裕子・大迫より子・渡邊美紀乃

⑧ 集団づくり	
	脇信明・古庄範子・古林ゆり・神崎真由美

⑨ 0・1・2歳児のあそびと生活	
・0、1、2歳児の発達を保障する心地よい生活をつくり出すための保育実践とは。 <ul style="list-style-type: none">0、1、2歳児のあそびとはなにか。そのあそびを保育者はどのように創り、発展させていったらよいか。 0、1、2歳児の生活とあそびを充実させるための保護者との連携、保護者集団づくりをどうすすめるかなどの課題をみんなで考え合いましょう。	
	菱谷信子・川内良子・西本紫舞・小濱田さち子

⑩ 3・4・5歳児のあそびと生活	
・あそびの重要性が再び主張されている今日、幼児はあそびや生活・仕事の取り組みの中で、どのように自分づくりをし、なかまどのようにあそびや生活や仕事を組織し発展させていったらよいか。 <ul style="list-style-type: none">九州各地の幼児のあそびや生活・飼育・栽培などの仕事の取り組みを交流しあいましょう。	
	竹腰美佐子・前田明・山並啓・前田志津子・河野秀子

⑪ 子どもの生活と美術・造形（えがく・つくる）	
幼児期の豊かな表現活動を引き出すために各実践が何を問題にし、どういうことが明らかになったのか具体的に議論します。絵や造形表現のとらえ方だけでなく、その指導に対しては様々な考え方や実践方法があるだけに、それぞれの立場を大事に、共通点や相違点を実践の中で確かめていくことも重視しています。	
	宮本文香・高田百合・甲斐幸恵・柳井文香

⑫ 子どもの生活と音楽（うた・リズム表現）	
・子どもの心をひらき、うごかし、子どもを育てる音楽。その音楽をどう子どもに出会わせ、渡し、保育の力にしてゆくかを学び合いましょう。	
	山並道枝・毛谷村裕子・大石八重

⑬ 子どもの生活と文学（絵本・劇あそび）	
・子どもたちに絵本やお話の世界の豊かさを伝えるための保育者の役割とは。 <ul style="list-style-type: none">絵本・お話の遊び方、与え方とは。 生きる力になりうる文学とは。	
	柳原志州・八尋理恵・佐伯由佳

⑭ 子どもの生活と身体づくり・運動	
身体を思いっきり動かし、友達とかかわりながらあそぶことを通して、子どもたちは心も身体もたくましくなっていきます。一方、「子どもが変わった、親が変わった」といわれるあそび・生活の変化にともない新たな実践課題も指摘されています。そうした発達課題、生活課題をふまえながら、子どもたちがワクワク、キドキキするようなあそびを参加者みんなで考えましょう。	
	鐘ヶ江淳一・福井英二・坂本慎也

⑮ 健康・食・生活リズム	
食べることは、生きること、そして保育の中でも重要な分野、あふれる食情報の中、食の大切なものを認識しながら、食で困っている親子支援、食情報を提供してきた分科会です。アレルギーへの取り組み、衛生問題、離乳食の進め方、食材料の選び方、食育など毎年多くの取り組みが報告されています。	
	松下賢治・二宮直子・奥村美香

⑯ 保育計画と園の行事	
実践に役立つ保育計画の作成方法や記録の取り方について幅広く学びあう分科会です。また、各園の行事（内容とねらい）についても議論します。この分科会では下記の意見交換を予定していますので、指導計画などを持ち寄って楽しく学びましょう。 <ul style="list-style-type: none">指導計画（年間・月案・週案）の作成ポイントや書式づくりについて 保育者の合意形成（職員集団づくり）をいかに育むか？ 保育所保育要録と移行支援シートの記入に際しての留意点 新保育所保育指針と保育計画の関係性 など	
	吾孫子幹・和智延代・上原真幸・豊永智恵子

⑰ 乳幼児期の平和教育	
平和的人間の形成は現代の教育の原点になるべきものといえます。平和と民主主義が危機にさらされている今、乳幼児期からの取り組みが求められています。平和を愛する心を育む平和教育は子どもの誕生の瞬間から始まります。おとなに愛されているという安心感や自己肯定感を育むことも仲間と話し合う力を培うことも平和の心を育てることにつながるものです。日常の保育をあらためて平和教育の視点からとらえ直してみることから始めていきましょう。現代に生きるおとなとして平和のためにできることを語りあい学びあう分科会を一緒に創っていきましょう。	
	黒川久美・船越美穂・前原祐子・佐藤和

Ⅲ 保育要求の実現と保育条件改善のために	
⑱ 保育政策と保育運動	
未だに解決の糸口が見えない待機児問題。保育士不足も深刻です。しかしこれに対する国が示す政策は、施設や保育士資格者任用の規制緩和です。一方、国は消費税増を前提とした”幼児教育・保育の無償化”を打ち出しましたが、これは給食の実費徴収の問題など保育の質を大きく壊しかねない矛盾を含むものです。「無償化」よりも「質の向上」が求められています。豊かな保育、子育て環境をどの子にも保障していくために九州各地の状況を出し合いましょう。	
	建川美徳・吉富利子・愛甲明実

⑲ 子育て支援とつながりづくり	
この分科会では「つながりづくり」を基に、親同士のつながり（保護者会活動など）、親と専門機関（療育など）のつながり、そして親と地域とのつながり（子育て支援など）を皆で共に考えてくことを目的としています。「つながり」をどう行っていけばよいか、皆さんで考えていきましょう。	
	松木朋子・小西祐馬・江玉睦美・甲斐清美

⑳ よりよい保育と職場づくり（園長・主任）	
園の経営や職員集団づくりは、園長・主任の大きな役割です。しかし制度や社会の大きな変化の中、運営がうまくいかなかったり、壁にぶつかったりすることも多いと思います。この交流会では、主に園長や主任を対象として、いろいろな話を皆さんで出し合いながら交流することを目的としています。何か発見があるかもしれませんよ。	
	長谷裕之・宮本敦子・甲斐寛

㉑ 地域型保育	
・待機児童が増え、九州でもますます増えてきた地域型保育事業。0・1・2歳児の乳児保育専門として保育の質を向上させるため、保育者や管理者、また関わる方々が日々の保育の悩みや疑問点、そして意見や情報を交わり、明日からの保育をよりよいものにしていきましょう。 <ul style="list-style-type: none">小規模保育、家庭的保育、事業所内保育の保育者や子育て支援員、またこれから地域型保育に関わりたいと考えている方、是非ご参加下さい。	
	松本佑梨・佐藤レイ子・中村千恵子

市民講座 9月8日 (日) 10:00~14:50

市民講座Ⅰ 10：00~12：00	
「生きづらさと自己肯定感」	
	講師 高垣忠一郎（フリースタイルな心理臨床家）

思春期は子どもが人生の主人公になっていく「第二の誕生」のときです。その「第二の誕生」が難産になっています。自己肯定感がふくらんでないことそのものの理由です。私の提唱する自己肯定感ほ評価や褒めることで高めるものではありません。いま「自己肯定感」という言葉だけがひとり歩きをしています。私の提唱する「自己肯定感」はどんなものかを詳しくお話ししたいと思います。

市民講座Ⅱ 13：00~14：50	
「子どもの根っこは「遊び」が育む～遊育のススメ」	
	講師 天野 秀昭（一般社団法人「日本プレイパーク協会」理事）
「やってみたい」から始まる子どもの遊び。「やってみたい」は、「育ちたい」「もっと知りたい」という生きる意欲の表れそのもの。なぜ遊ぶことが子どもの育ちに欠かせないのか、40年子どもの遊びに関わってきた講師が脳科学も交えわかりやすく解説します。その訳を知ったら、今までは腹が立った子どもの遊びを見る目が必ず変わります。	

閉会集会 9月8日 (日) 15:30~15:50

2日間にわたり学びを深めることができたでしょうか。この学びを明日からの保育や子育てに活かしましょう。今回は50回記念の「福岡集会」となります。宮崎から福岡へ思いを込めたバトンタッチの企画もあります。最後にみなさんと集みましょう！